

手順編

0.エンドパネル(オプション) ▶24	8.セットタンク ▶43
1.壁掛大便器スタンド ▶25	9.ウォシュレット ▶46
2.止水栓 ▶27	10.前板(上) ▶48
3.壁側板(手洗器設置側) ▶33	11.棚板・ タンク上収納底板用アングル材 ▶49
4.排水接続管 ▶34	12.扉 ▶51
5.コアキャビネット ▶37	13.固定扉・天板 ▶53
6.大便器 ▶40	
7.タンク接続管 ▶42	

	手洗器サイズ	Mサイズ	Sサイズ
14.手洗器キャビネット・カウンター		▶55	▶67
15.手洗器		▶62	▶75
16.試運転・確認		▶80	
17.流動レバー		▶85	
18.給水フィルターの清掃		▶85	
19.天板		▶86	
20.器具類		▶89	
21.仕上げ		▶90	
引渡し前の点検		▶裏表紙	

マーク表示について



寒冷地仕様の場合を示します。



電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



シールテープを
巻いてください。



カット
カットしてください。



ボードアンカー
ボードアンカーを
差し込んでください。



けがきを
してください。

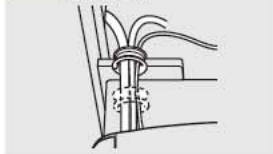
水平器で水平・垂直確認
してください。

9.ウォシュレット

1 ウォシュレットの設置

▶ウォシュレット施工説明書

2 ホース・コードのはめ込み



▶P.46

3 ホースの接続



▶P.46

4 リモコンの設定・作動確認



▶P.47

1 ウォシュレットの設置

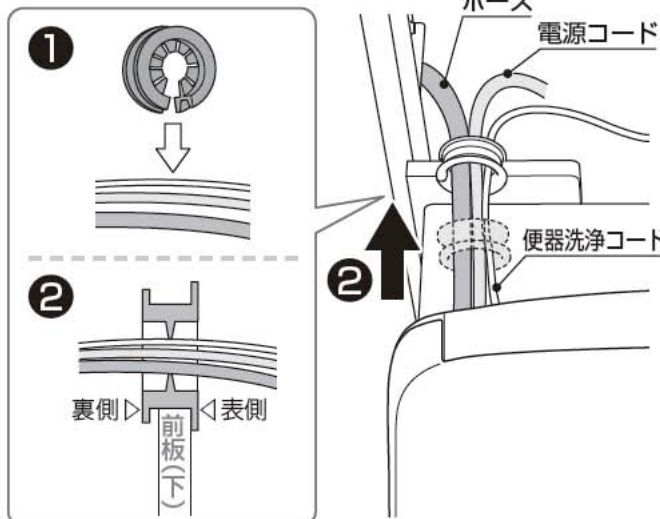
▶ウォシュレット施工説明書

壁給水で壁排水（左抜き）の場合、既存給水流用（水抜方式）右側立ち上げの場合

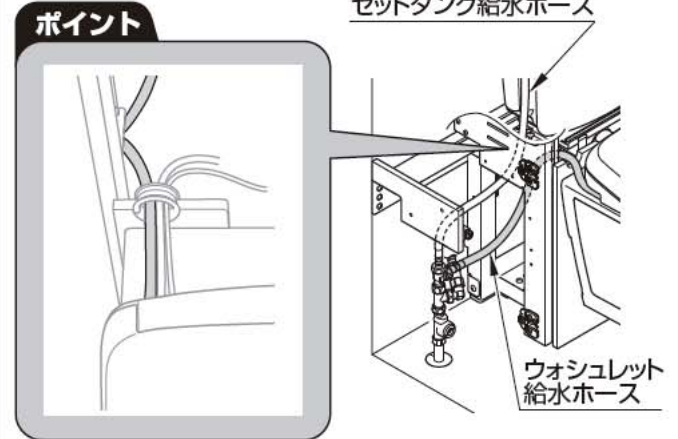
給水ホースを交換する
別売品 ウォシュレット用給水ホース(TCA525)

作業がしやすいようにウォシュレットを
手前に引き出しておく。

2 ホース・コードのはめ込み



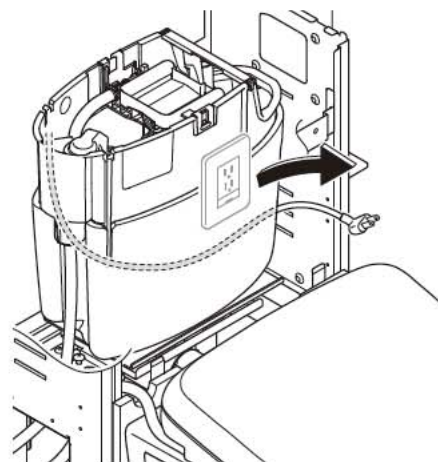
3 ホースの接続



水抜方式

電源コード取り回し

タンク用ヒーターの電源コードをコンセント側
に取り回しておく



4 リモコンの設定・作動確認

① 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認

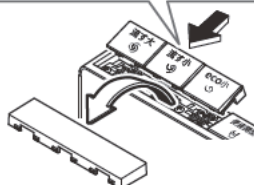
② 流すボタンの取り付け

▶流すボタン取付説明書

流すボタン
(ウォシュレット専用便器洗浄ユニットに同梱)

注意

リモコンには流すボタンが
取り付けいていません。
必ず取り付けてください。



③ ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを確認し、モード設定をする

注意

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあとに行ってください。
※ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。

④ ビデ/ワイド と 水勢 - を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。



⑤ おしり/ソフト 水勢 - 水勢 + の順に押す

ピッ



⑥ ビデ/ワイド と 水勢 + を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。



⑦ おしり/ソフト 水勢 - おしり/ソフト の順に押す

電子音が鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが2回点滅することを確認する
電子音とランプの点滅が下記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
手順③に戻り設定しなおしてください。



⑧ 作動確認

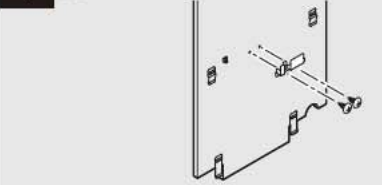
※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



■正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

10.前板 (上)

1 前板の組み立て



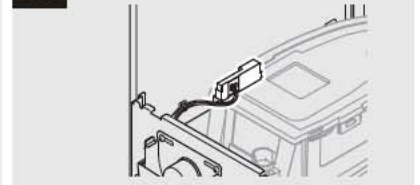
▶ P.48

2 前板の取り付け



▶ P.48

3 マイクロ波センサーの取り付け



▶ P.48

1 前板の組み立て

トラスタッピンねじ
3.5×10 (2本)

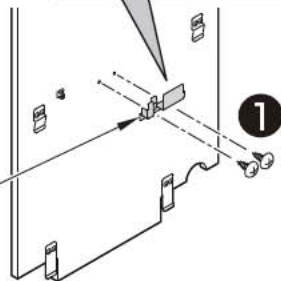
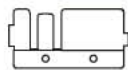
手締めで



マイクロ波センサー取付金具
※照明部材セットに同梱
されています。

注意

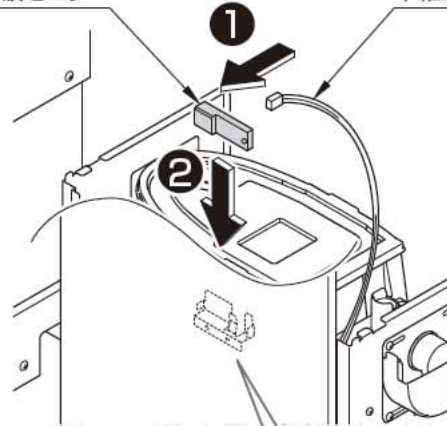
上下の向きを確認



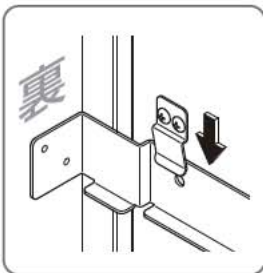
3 マイクロ波センサーの取り付け

マイクロ波センサー

中継ハーネス

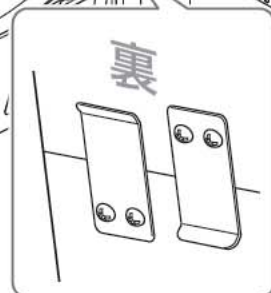
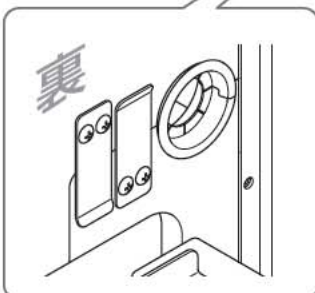


2 前板の取り付け

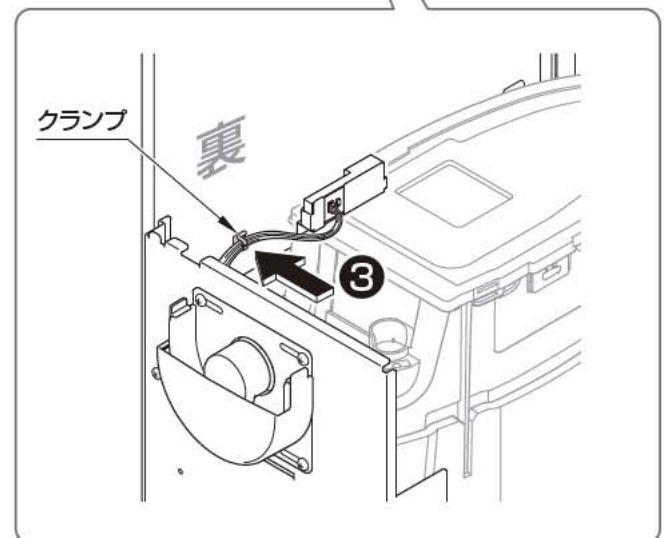


注意

コード類を
挟み込まないこと

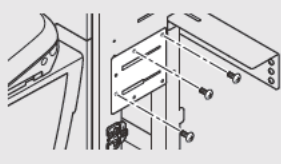


クランプ



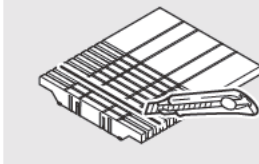
11. 棚板・タンク上収納底板用アンクル材(まるごと収納タイプ)

1 化粧パネルの取り付け



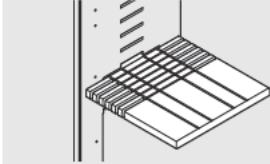
▶ P.49

2 棚板のカット



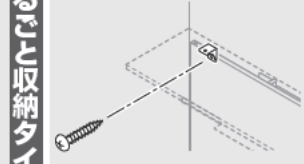
▶ P.49

3 棚板の取り付け



▶ P.50

4 アンクル材の取り付け



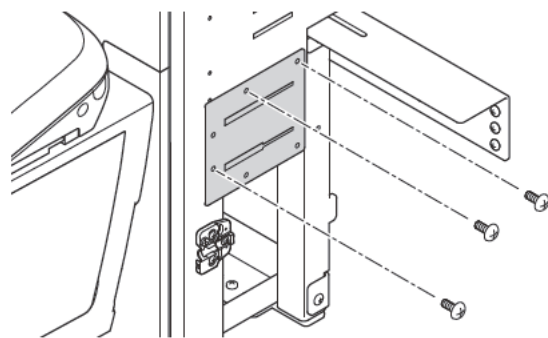
▶ P.50

まるごと収納タイプ

1 化粧パネルの取り付け

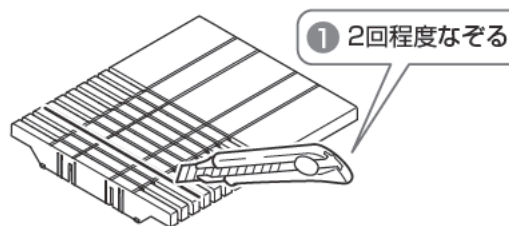
※カウンターが取り付け反対側に
取り付けてください。

トラス小ねじ
M4×10(3本)



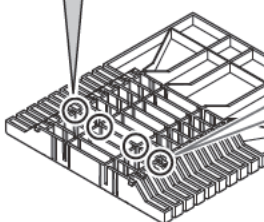
2 棚板のカット

【上面】

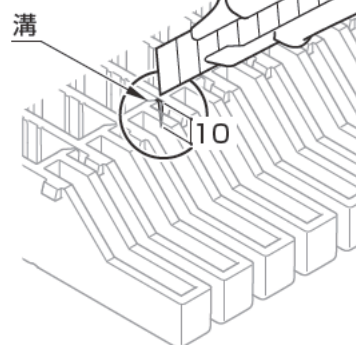


【裏面】

けがいた位置を
確認(4カ所)



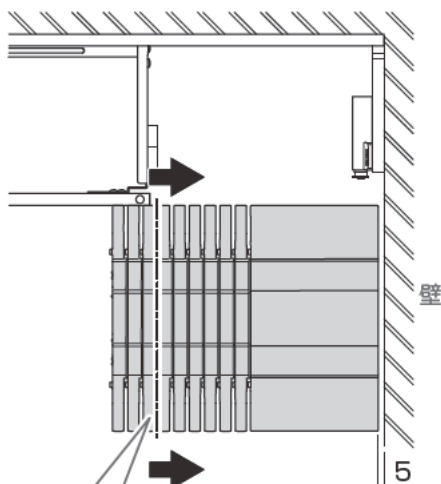
2 リブの溝にあわせて切り込みを入れる
(4カ所)



2 棚板のカット

1 設置寸法の測定

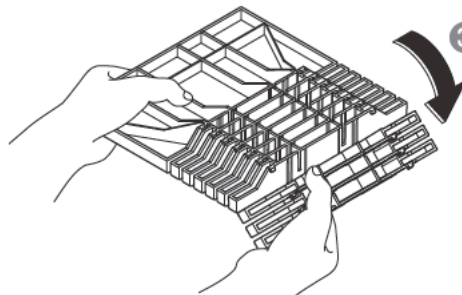
【上図】



前板の端から壁側寄りに
ある一番近い溝

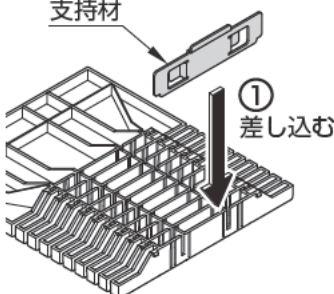
1 5mm程度
すき間を空けて、
前板に当てる

3 折る



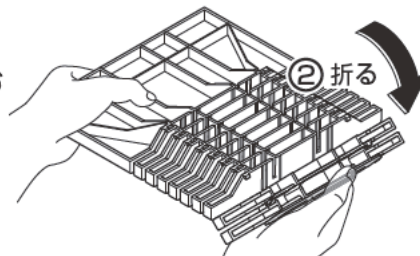
棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合

支持材

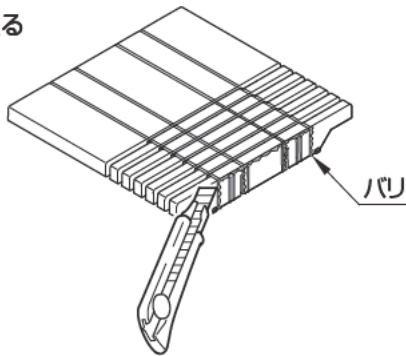


1 差し込む

2 折る



④ バリを取る



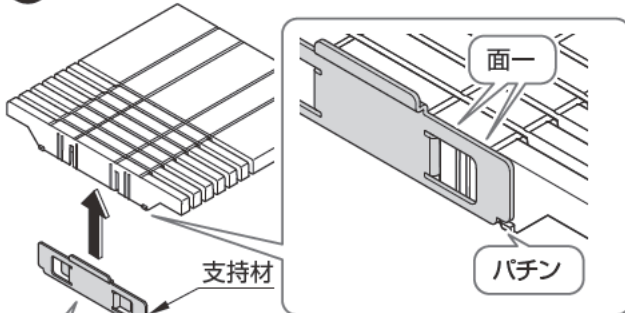
注意

棚板を切断したあとは必ずバリを取る

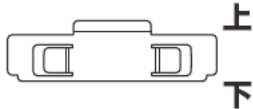
バリ取りが不十分な場合は、切断面でけがをするおそれがあります。

3 棚板の取り付け

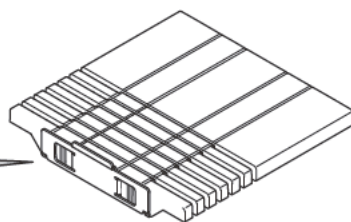
① 支持材の取り付け



支持材の上下に気を付ける



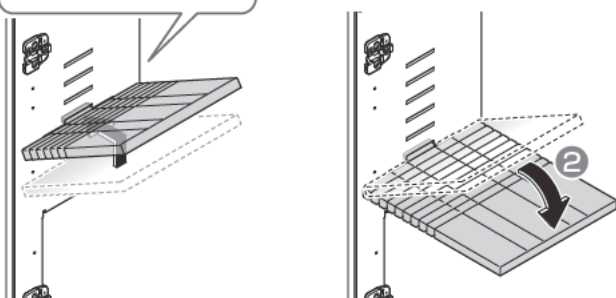
完成図



支持材が外れないことを確認

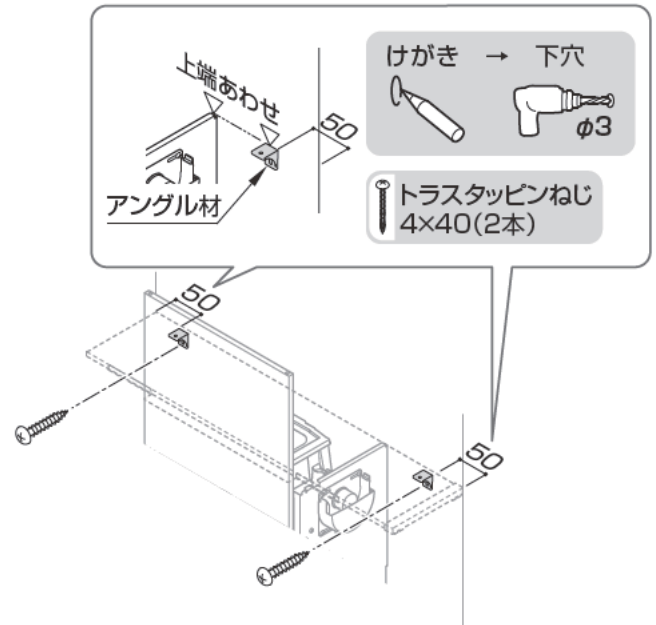
② 棚板の取り付け

① 溝に棚板の支持材を差し込む



まるごと収納タイプ

4 アンゲル材の取り付け



MEMO

12.扉

2 扉の取り付け 調整については
下記URL内の「扉の調整」をご覧ください。
[URL] https://jp.toto.com/support/repair/solution_t/08_02.htm

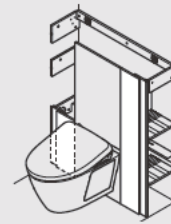


1 扉の組み立て



▶P.51

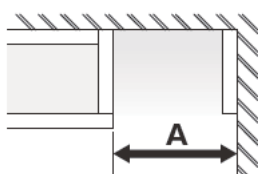
2 扉の取り付け



▶P.51

1 扉の組み立て

① 設置寸法の測定



② 扉の組み立て

A-3

手締めで



トラスタッピンねじ
4×20(2本)

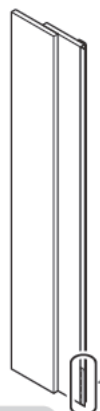
本固定用(ここでは使用しない)
▶「21.仕上げ」

※養生シートがある場合は取付前に
シートをはがす
※図は右扉セットの場合

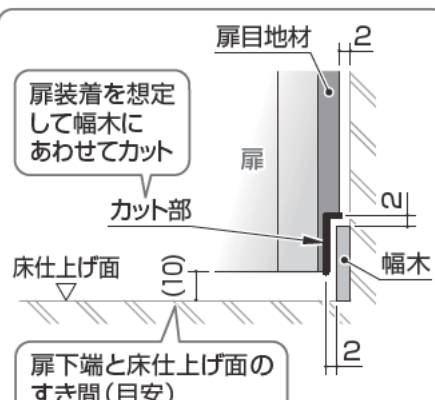
幅木がある場合

③ 扉目地材のカット

扉は開閉のため、床仕上げ面から
浮いているので切りすぎないように
注意すること

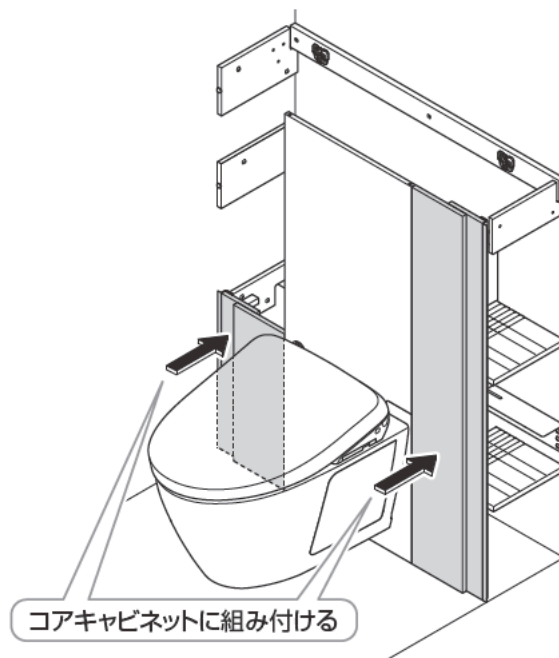


カット

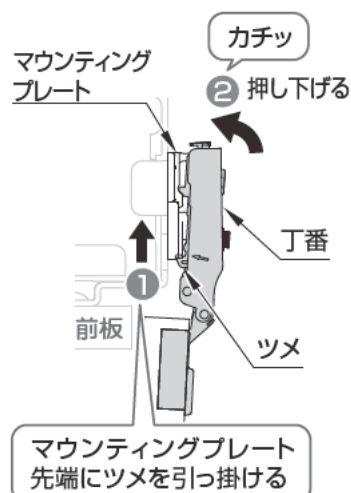


2 扉の取り付け

① 扉をコアキャビネットの丁番に取り付け



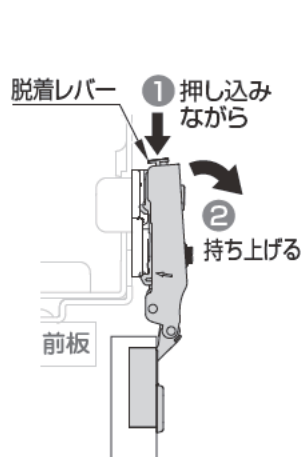
取り付けかた



マウンティングプレート
先端にツメを引っ掛ける

丁番本体がきちんと
マウンティングプレートに
装着されているか確認する

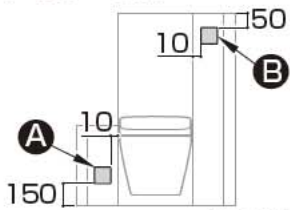
取り外しかた



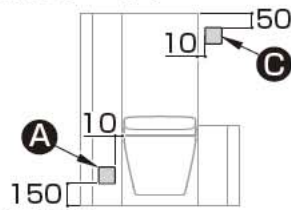
② ラベルのはり付け

A 止水栓ラベル **B** 便器洗浄ラベル **C** 便器洗浄ラベル
止水栓がある側にはる (GH04247) (GH04248)

〈左勝手の場合〉



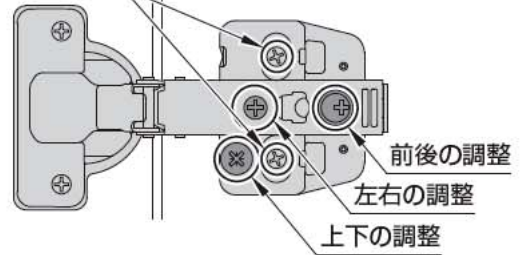
〈右勝手の場合〉



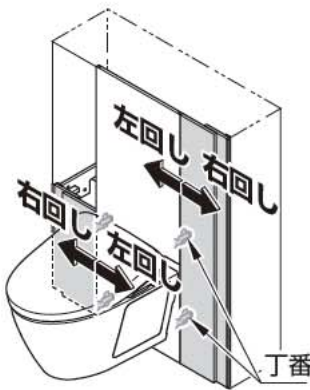
はり付け位置(参考)

扉の調整

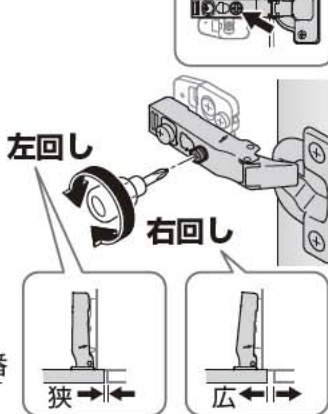
このねじは使わない



【左右】



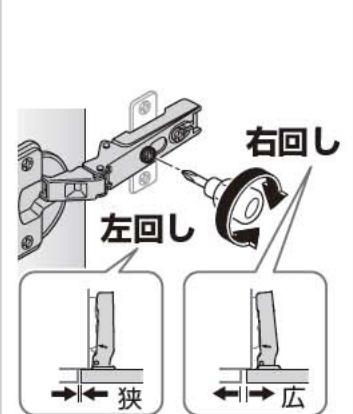
【左扉の場合】



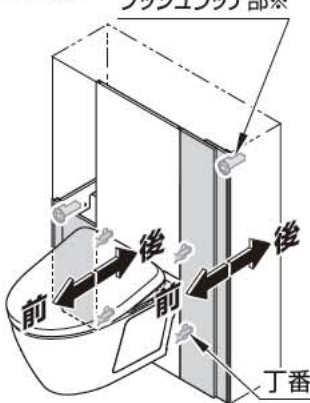
【右扉の場合】



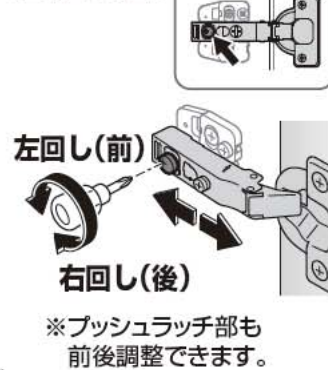
【手洗器キャビネットの場合】



【前後】

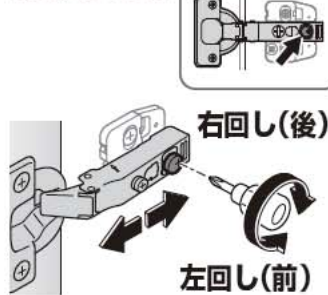


【左扉の場合】

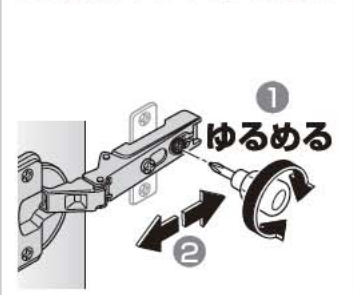


※プッシュラッチ部も
前後調整できます。

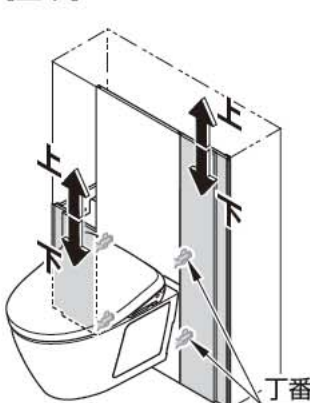
【右扉の場合】



【手洗器キャビネットの場合】



【上下】



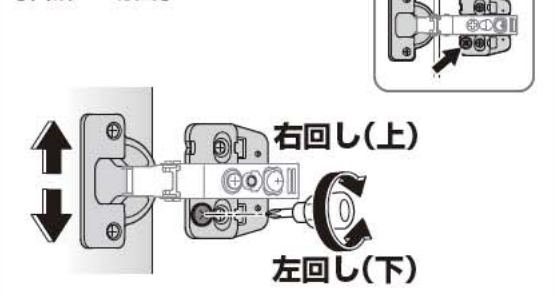
【左扉の場合】



注意

扉の上下調整は上下2つの丁番の移動方向をあわせる
逆方向に移動すると扉の動きがたかくなる、また扉が反ることがあります。

【右扉の場合】



※扉の向きによって調整ねじ
位置が変わります。

【お引渡し前に】

扉の本固定と調整を必ず行ってください。▶P.91

13. 固定扉・天板

1 固定扉のカット



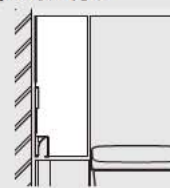
▶ P.53

2 丁番・固定扉キャップの取り付け



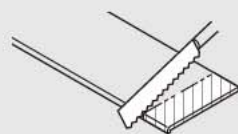
▶ P.53

3 固定扉の取り付け



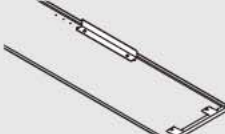
▶ P.54

4 天板の加工



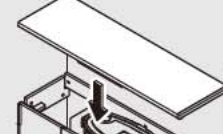
▶ P.54

5 天板の組み立て



▶ P.54

6 天板の取り付け



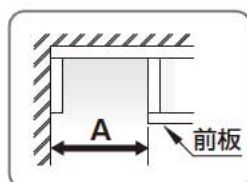
▶ P.54

1 固定扉のカット

注意

仕上げ面を上にしてカットすること

【左勝手】



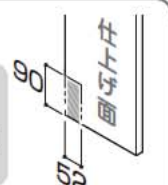
①

カット



②

けがき → カット

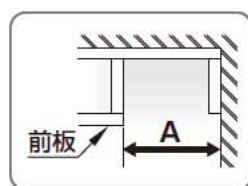


【右勝手】



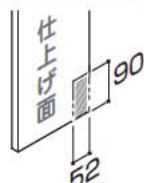
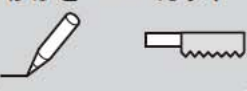
①

カット



②

けがき → カット



2 丁番・固定扉キャップの取り付け

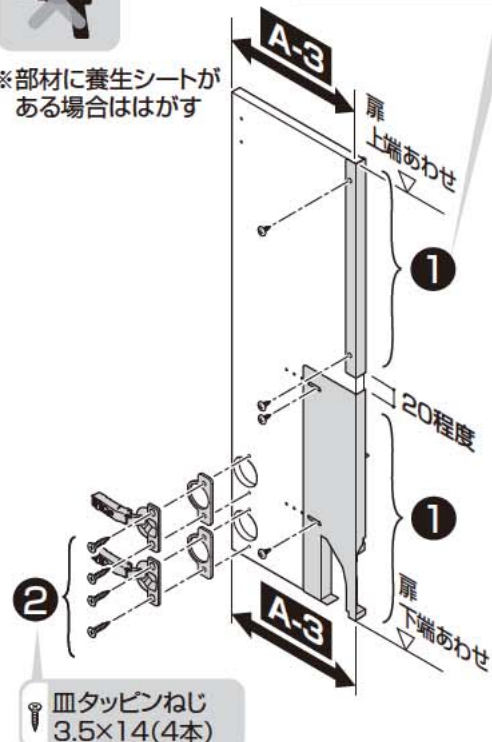
まるごと収納タイプの場合

手締めで



※部材に養生シートがある場合ははがす

トラスタッピンねじ
4×10(4本)



皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

注意

天板開閉部材セットに同梱されている
スライド丁番を使用しないこと
形は同じでも開き角度が違います。

すっきり収納タイプの場合

手締めで



皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

2

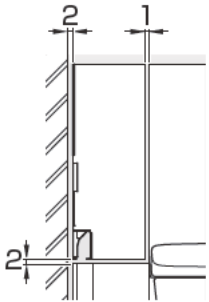
トラスタッピンねじ
4×10(2本)

扉
上端合せ

※部材に養生シートがある場合ははがす

3 固定扉の取り付け

仕上げ状態(目安)



フレキホース
(手洗器用)、
排水管を通す

取り付けかた

マウンティング
プレート

2 押し下げる

カチッ

丁番

ツメ

1

前板

マウンティングプレート
先端にツメを引っ掛ける

丁番本体がきちんとマウン
ティングプレートに装着され
ているか確認する

取り外しかた

脱着レバー

1 押し込み
ながら

2 持ち上げる

前板

まるごと収納タイプ

トラスタッピンねじ
4×10(4本)

平板金

手締めで



すっきり収納タイプ

4 天板の加工

1 W寸法測定

狭い方を
基準にする



2 天板のカット

カット



カウンターと
反対側

ポイント

チッピングに注意!



のこぎりの場合
は表面からカット



丸のこの場合は
裏面からカット

すっきり収納タイプ

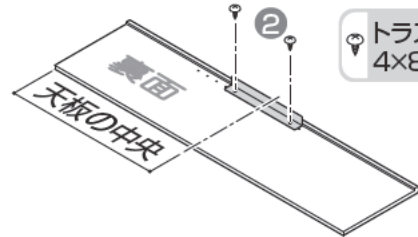
5 天板の組み立て

1 天板固定材の
取り付け

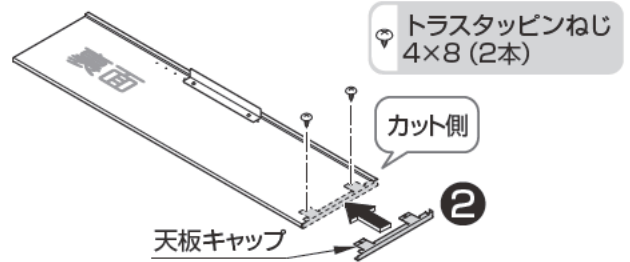
天板固定材

天板

1 当てる



トラスタッピンねじ
4×8(2本)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

カット側

2

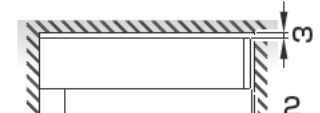
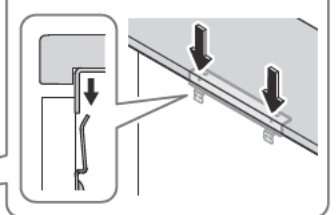
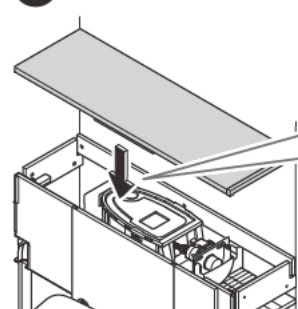
天板キャップ

すっきり収納タイプ

6 天板の取り付け

1 天板の取り付け

前板に天板固定材を差し込む



※まるごと収納タイプの場合は試運転確認後に施工します。

手洗器 M サイズ

14-M.手洗器キャビネット・カウンター

「手洗器Sサイズ」の場合
P.67を参照してください。

カウンターの水平について

ブラケットおよびカウンターが水平となるように、スペーサーなど（現場手配）で必ず調整してください。
壁仕上げの状態（垂直、目地、鏡面など）によって、カウンターの見ばえに影響が出ることがあります。

1 上段カウンターの部材の取り付け

▶P.55

2 上段補強さんの取り付け

▶P.57

3 上段カウンターの取り付け

▶P.58

電気温水器付
自動水栓の場合

4 手洗器キャビネットの加工

▶P.58

5 手洗器キャビネットの取り付け

▶P.58

6 下段カウンターのカット

▶P.59

7 下段カウンターの部材の取り付け

▶P.59

8 下段補強さんの取り付け

▶P.60

9 下段カウンターの取り付け

▶P.61

1 上段カウンターの部材の取り付け

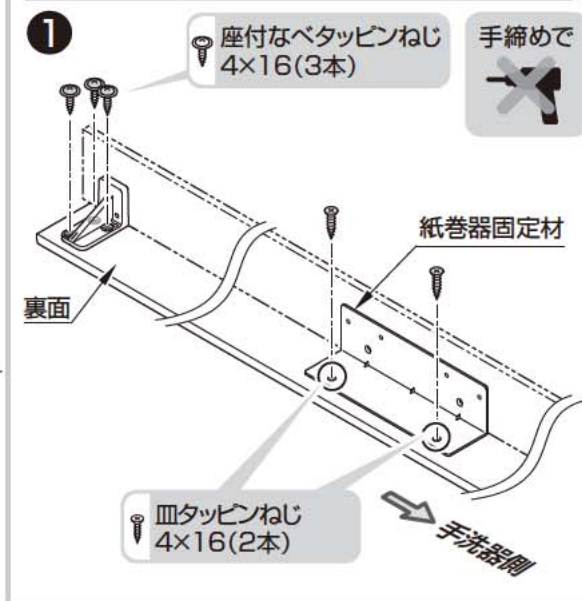
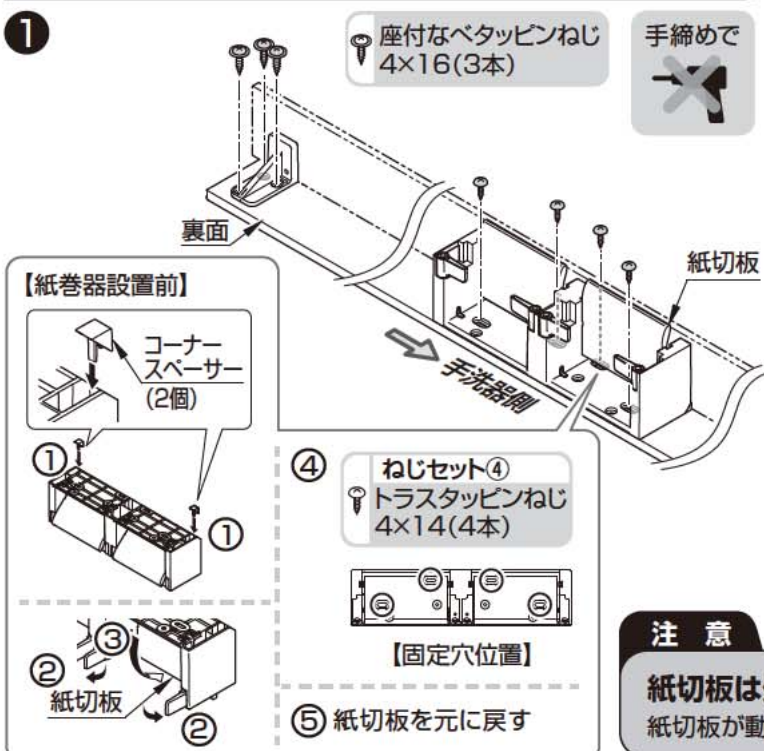
ポイント

ブラケット類の裏面に
上段補強さんをあてがい、
固定する



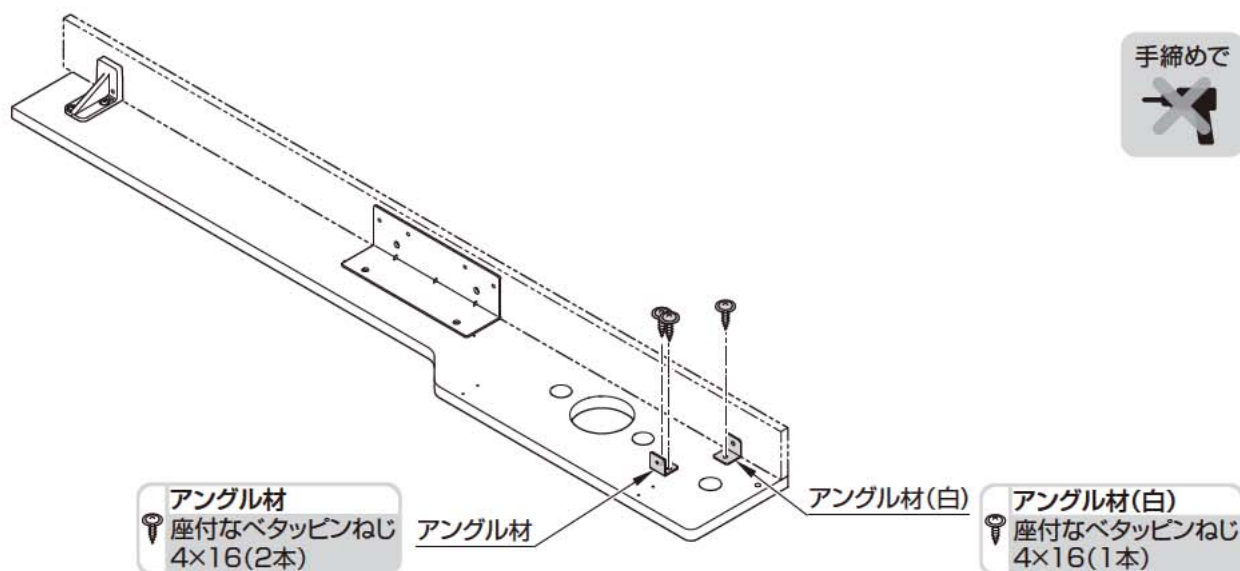
樹脂製紙巻器の場合（紙巻器固定材はありません）

メタル製紙巻器の場合



注意

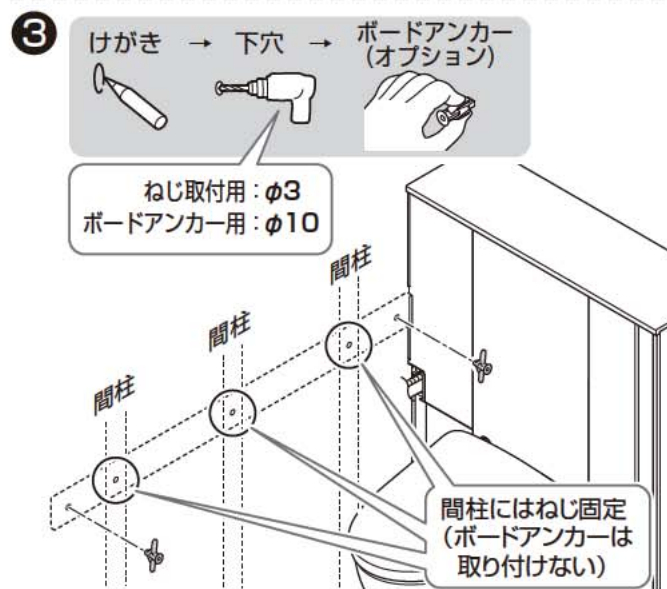
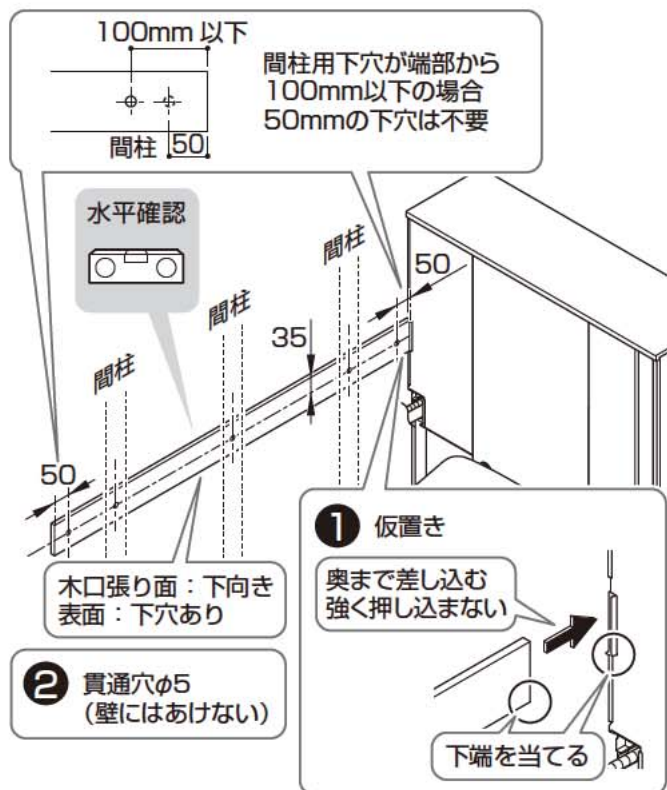
紙切板は外さない
紙切板が動作不良を起こすことがあります。



MEMO

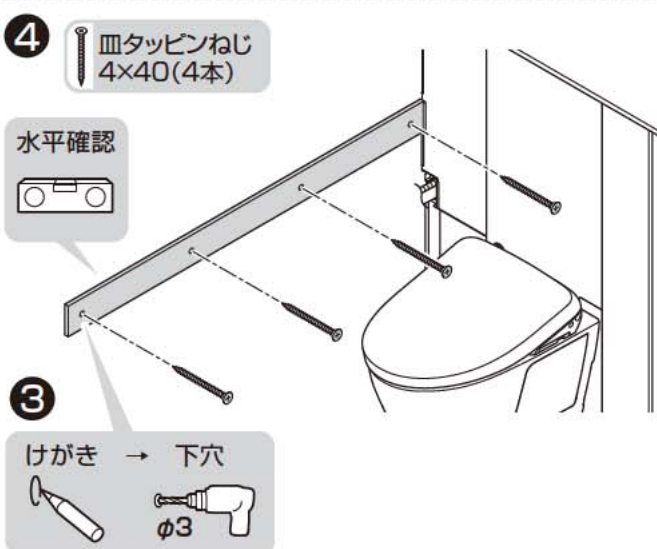
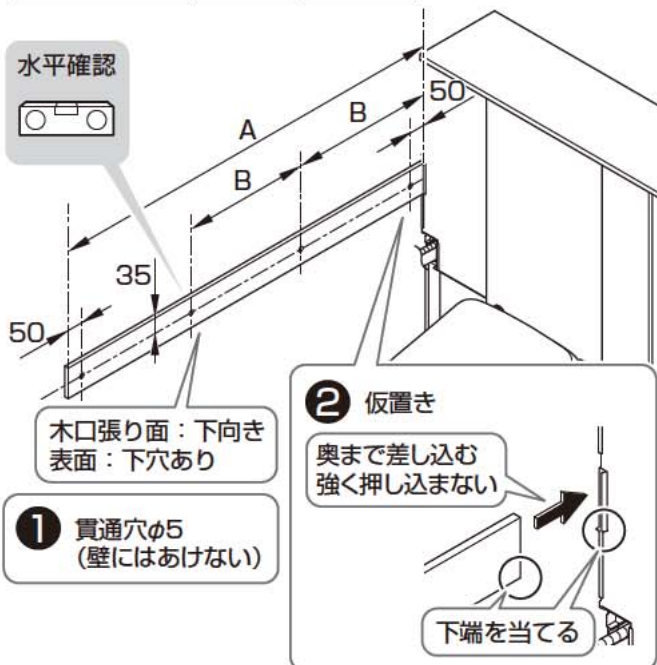
2 上段補強さんの取り付け

壁裏補強なしの場合

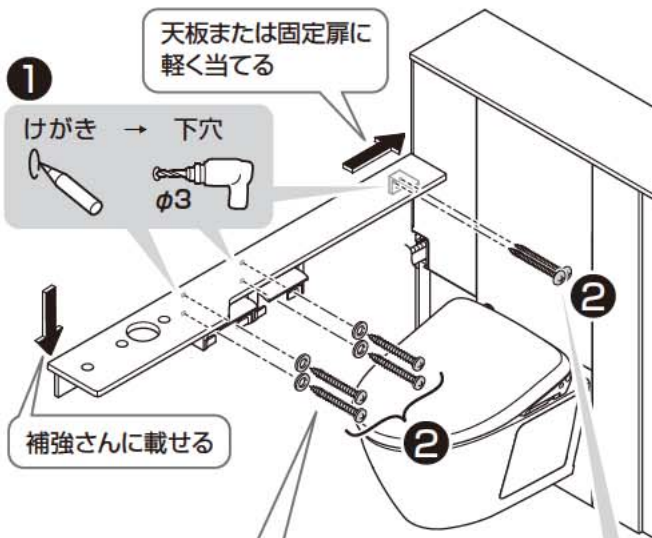


壁裏補強ありの場合

キャビネット奥行	A寸法	B寸法
256	1217	405
320	1253	415



3 上段カウンター取り付け



【樹脂紙巻器の場合】

ねじセット①

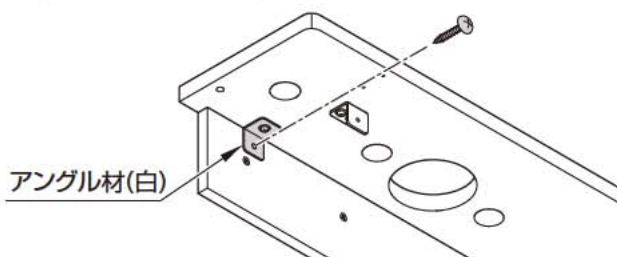
なべタッピンねじ 4.5x40 (4本) | 平座金 (4個)

【メタル紙巻器の場合】

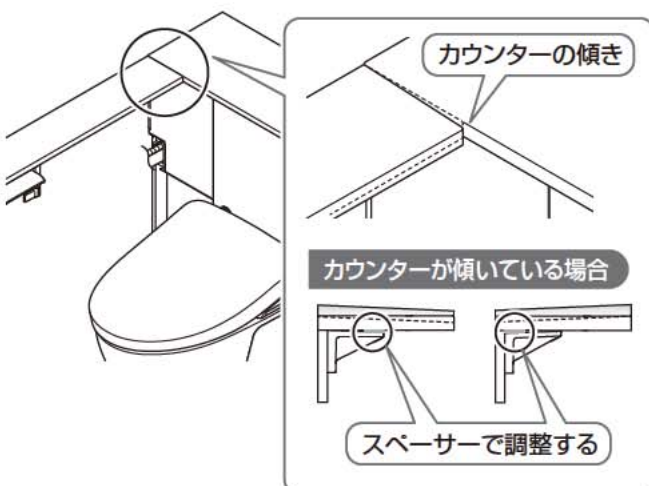
皿タッピンねじ 4x40 (2本)

トラスタッピンねじ 4x30 (2本)

3 トラスタッピンねじ 4x20 (1本)



天板とカウンターがフラットつながりの場合

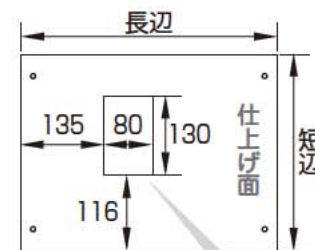


電気温水器付自動水栓の場合

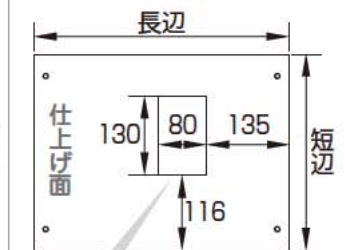
4 手洗器キャビネットの加工

背板にコンセント用の穴を加工

【左勝手】



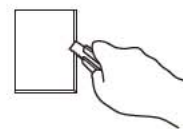
【右勝手】



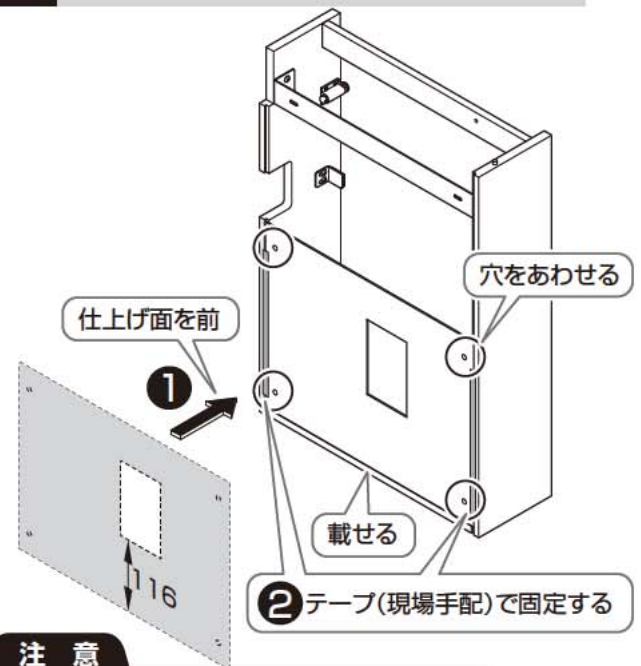
カット
背板に開口

ポイント

小型のノコギリを使用すると簡単にあけられます。

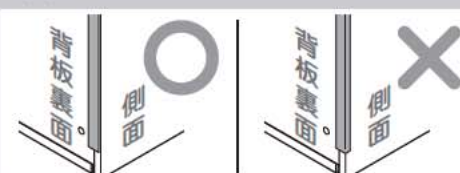


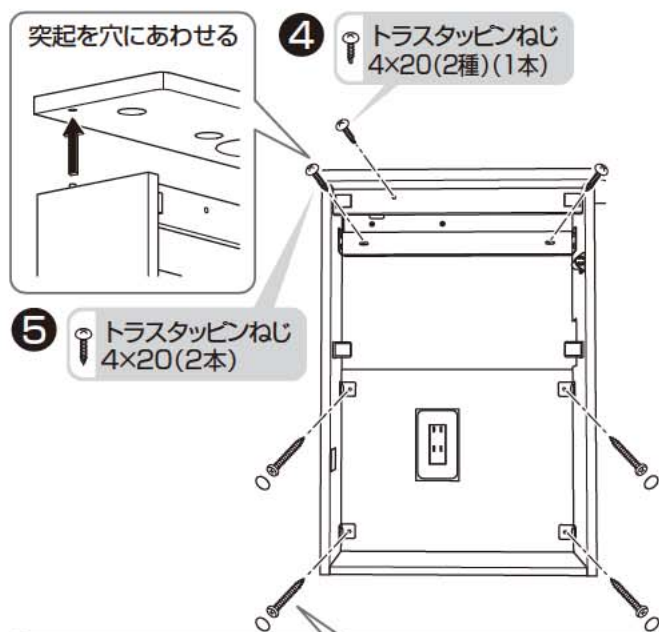
5 手洗器キャビネットの取り付け



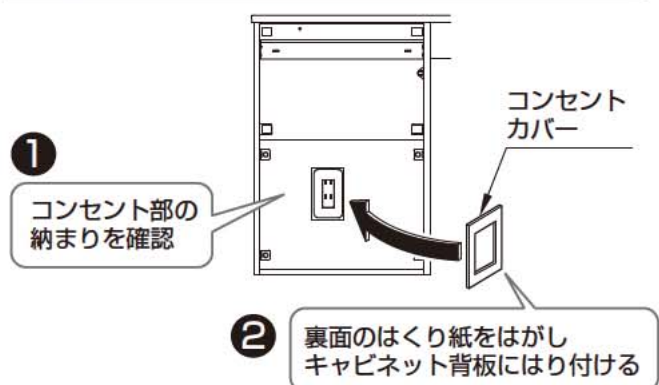
注意

側面にテープがかからないようにする

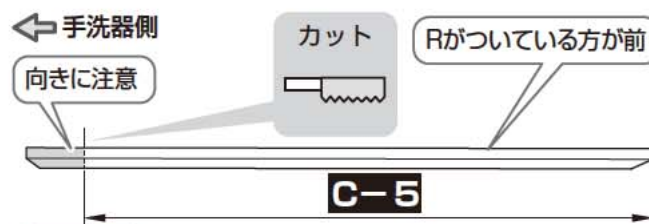
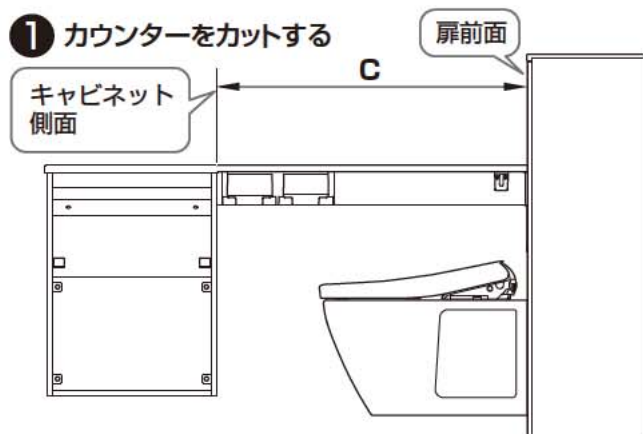




コンセントがある場合



6 下段カウンターのカット



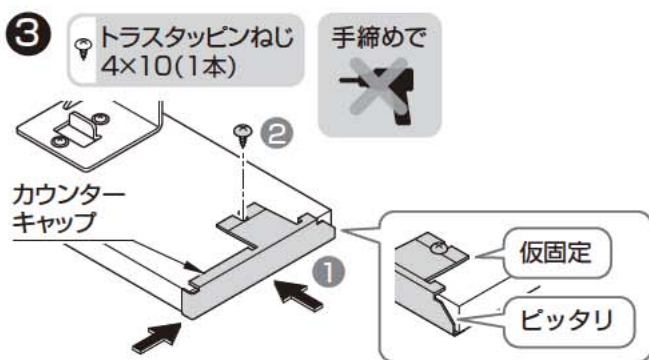
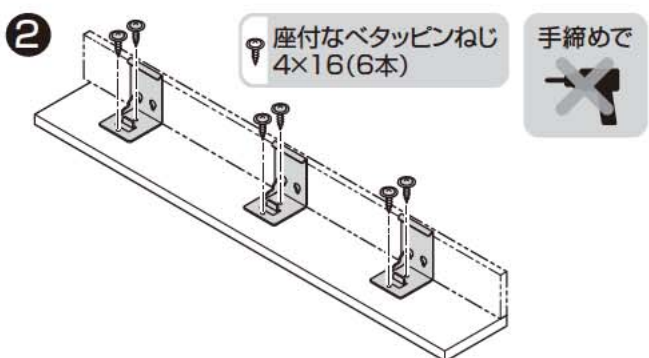
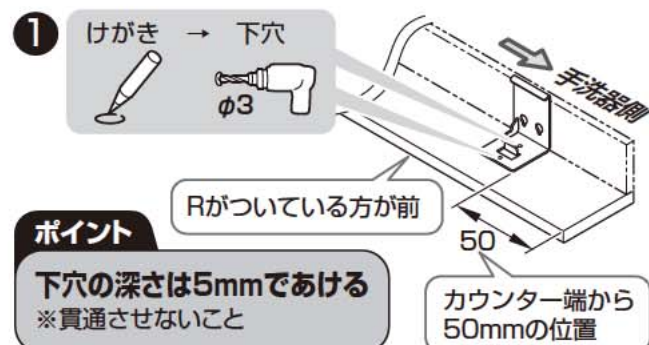
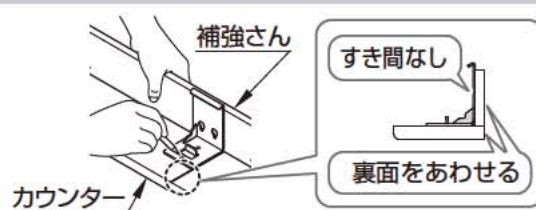
ポイント

表面(化粧あり)を上にしてカットする

7 下段カウンターの部材の取り付け

ポイント

ブラケット類の裏面に下段補強さんをあてがい、けがく



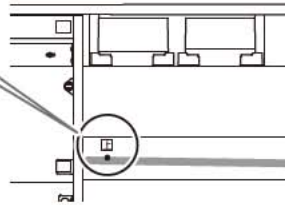
8 下段補強さんの取り付け

壁裏補強なしの場合

注意

向きに注意!

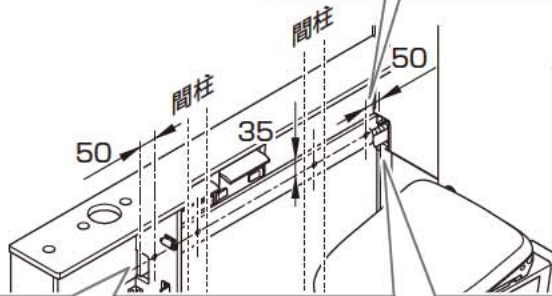
国マークを手洗器側に



② 貫通穴φ5
(壁にはあけない)

100mm 以下
間柱用下穴が
端部から100mm
以下の場合50mm
の下穴は不要

間柱



① 仮置き

切欠き部に
差し込む

奥まで差し込む
強く押し込まない

下端を当てる

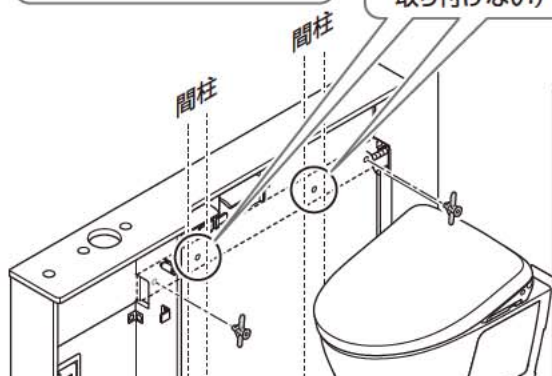


③ けがき → 下穴 → ボードアンカー
(オプション)



ねじ取付用: φ3
両端ボードアンカー用: φ10

間柱にはねじ固定
(ボードアンカーは
取り付けない)

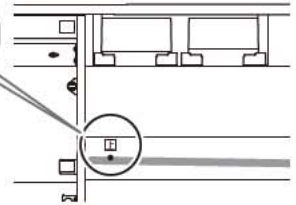


壁裏補強ありの場合

注意

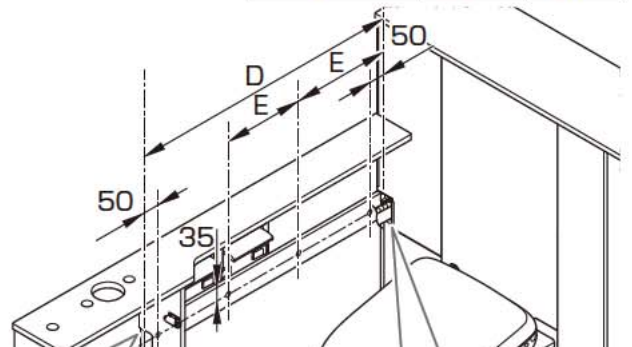
向きに注意!

国マークを手洗器側に



① 貫通穴φ5
(壁にはあけない)

キャビネット奥行	D寸法	E寸法
256	822	275
320	858	285



② 仮置き

切欠き部に
差し込む

奥まで差し込む
強く押し込まない

下端を当てる

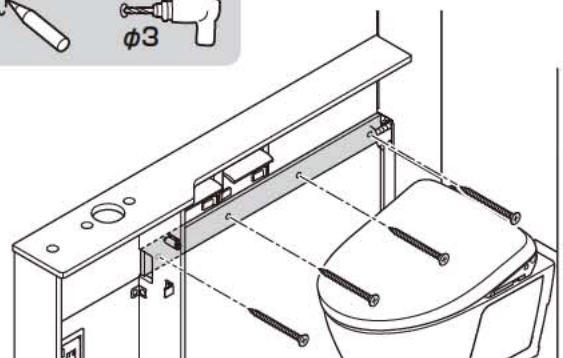


③ 皿タッピンねじ
4×40 (5本)

けがき → 下穴



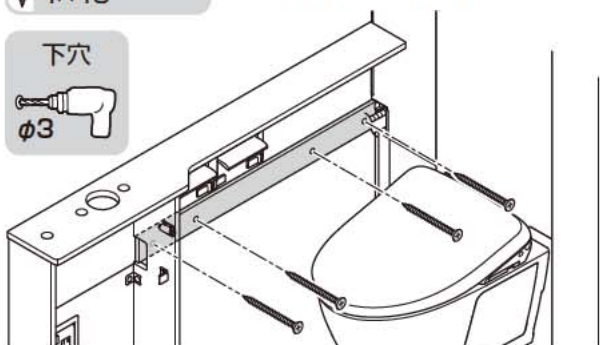
φ3



壁裏補強なしの場合

- 4** 皿タッピンねじ 4×40 ※カウンターの長さによって、使用するねじの数異なります。

下穴
φ3



MEMO

9 下段カウンターの取り付け

- 1** トラストタッピンねじ 4×20(6本) 固定扉にかかるく当てる

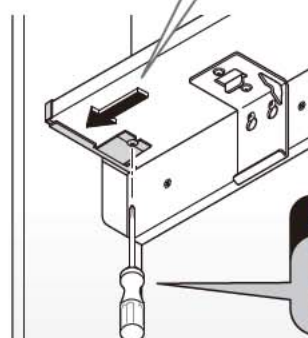
補強さんに載せる

けがき → 下穴



2

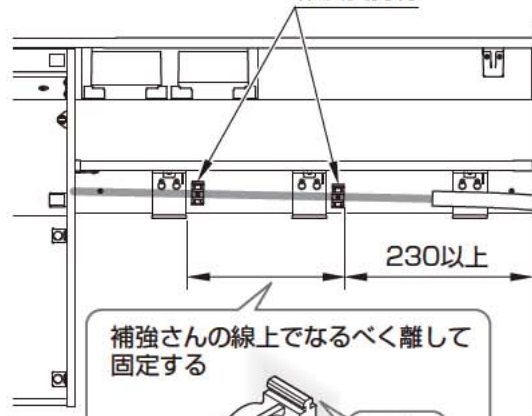
キャップを手洗器
キャビネットに当てる



ポイント
ドライバーにて
手締めする

- 3** なべタッピンねじ 4×16(2本)

配管支持材



補強さんの線上でなるべく離して
固定する



凸が上

手洗器 M サイズ

15-M. 手洗器

- 1 排水金具・手洗器固定金具の取り付け**

▶ P.62

2 手洗器の取り付け

▶ P.62

3 水栓金具の取り付け

▶ P.63

4 取付穴の下穴あけ

▶ P.63

5 配管固定材の固定

▶ P.63

6 フレキホース(手洗器用)の接続

▶ P.63

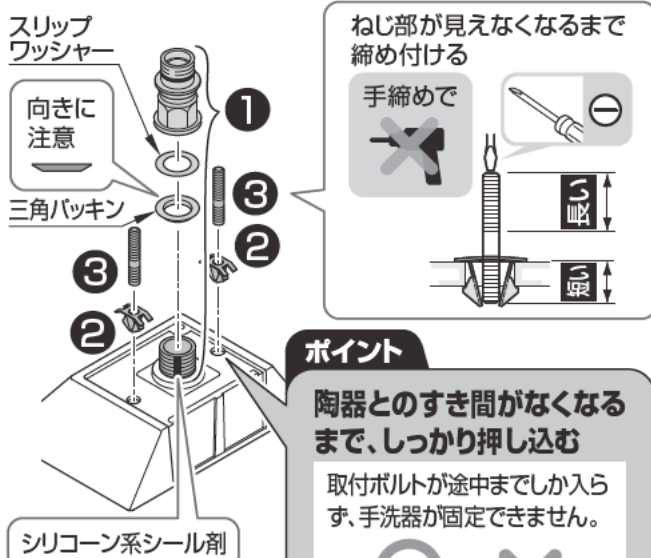
7 手洗器排水ホースのカット

▶ P.65

8 排水トラップの取り付け

▶ P.66

1 排水金具・手洗器固定金具の取り付け



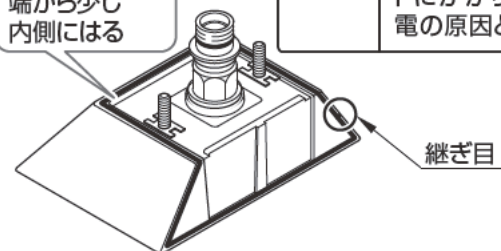
⚠ 注意

<p>禁止</p>	<p>接続管を締め過ぎない 排水金具が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。 (接続管を手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。)</p>
	<p>排水金具に工具などを差し込んで(固定し)、締め付けない 排水金具内の十字部の破損の原因となります。</p>
<p>必ず守る</p>	<p>排水金具ねじ部には、必ずシリコン系シーラントを塗布する 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p>

2 手洗器の取り付け

1 クッション材の取り付け

はみ出さぬよう端から少し内側にはる



⚠ 警告

必ず守る

クッション材のはり付けは確実に
水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

ポイント

向きに注意

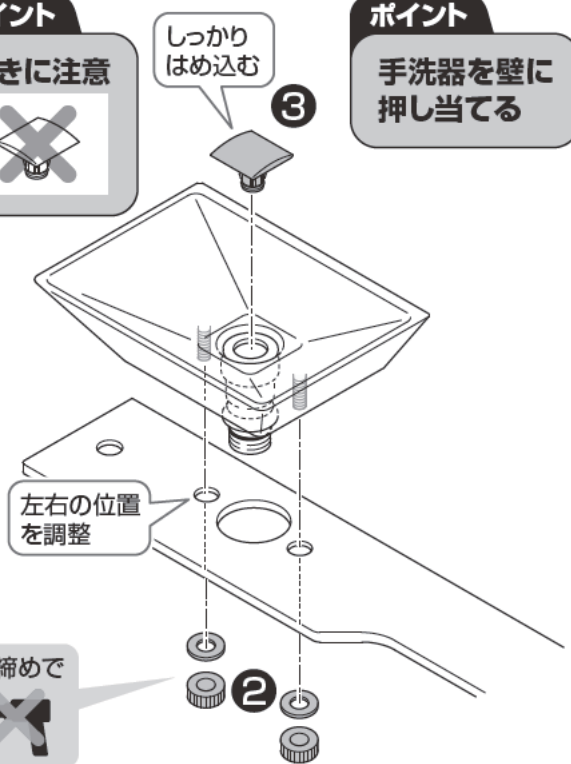


しっかりはめ込む

③

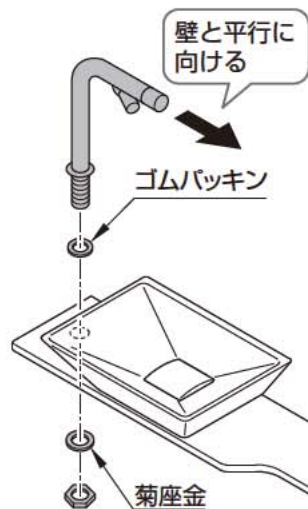
ポイント

手洗器を壁に押し当てる

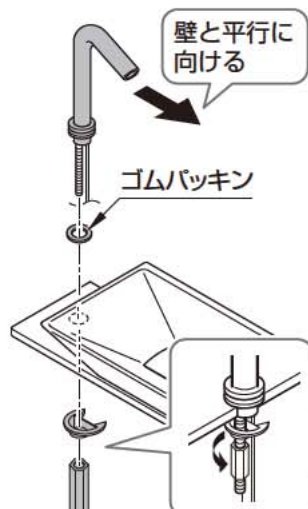


3 水栓金具の取り付け

ハンドル式水栓



自動水栓



4 取付穴の下穴あけ

けがき → 下穴※



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)

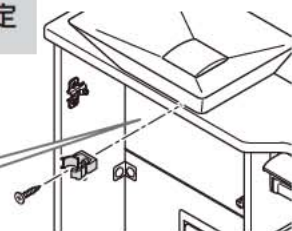


【けがき位置】
ハンドル式水栓: 1カ所
自動水栓: 6カ所
電気温水器付自動水栓:
10カ所

5 配管固定材の固定

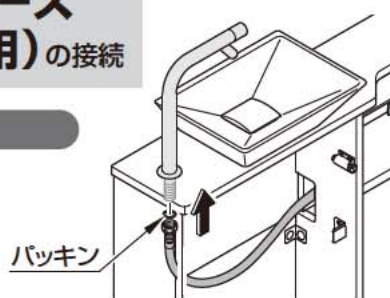
皿タッピンねじ
4×40(1本)

配管固定材を固定する



6 フレキホース (手洗器用)の接続

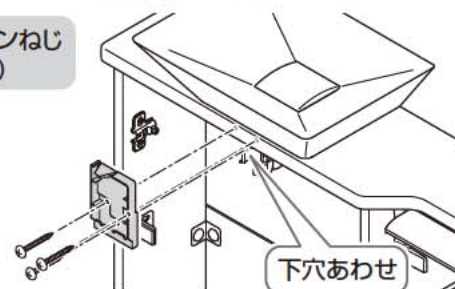
ハンドル式水栓



自動水栓・電気温水器付自動水栓

1 コントローラー固定材の取り付け

トラスタッピンねじ
4×30(3本)



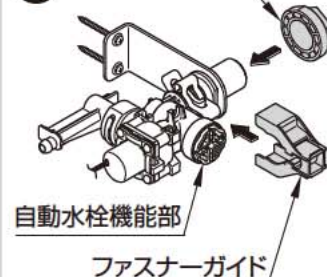
2

座付タッピンねじ
4.5×38(2本)

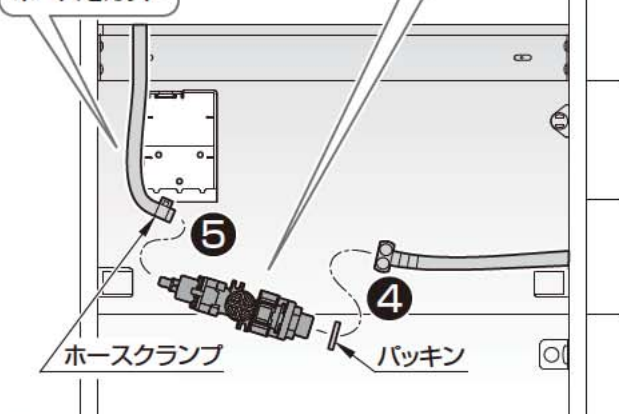


3

つば付きナット



適切な長さに
ホースをカット



5 スパウト連結ホースの接続

※電気温水器を設置する場合▶次ページ参照

⚠ 注意

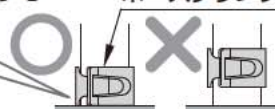
- ・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
- ・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する
- ・水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



必ず守る

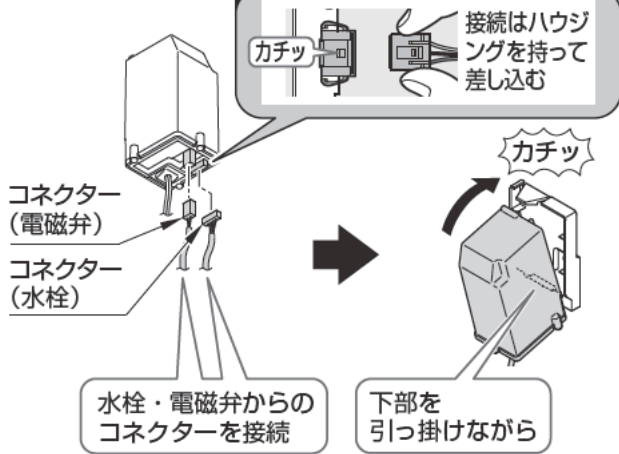
- ・ホースクランプは所定の位置にくるようにする
- ・必ずホースクランプでスパウト連結ホース、排水ホースを固定する

ホースクランプ
がホース継手の
上面に付くこと



⑥

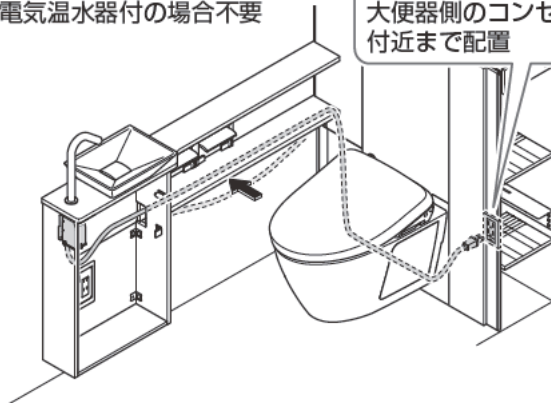
注意



⑦ 電源コード配置

※電気温水器付の場合不要

自動水栓のプラグを
大便器側のコンセント
付近まで配置



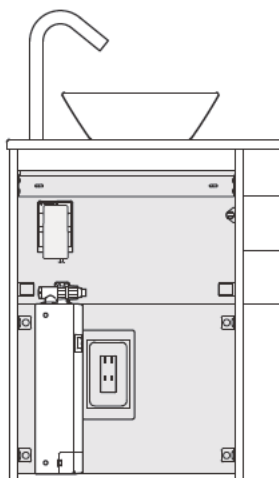
電気温水器付自動水栓

▶電気温水器施工説明書

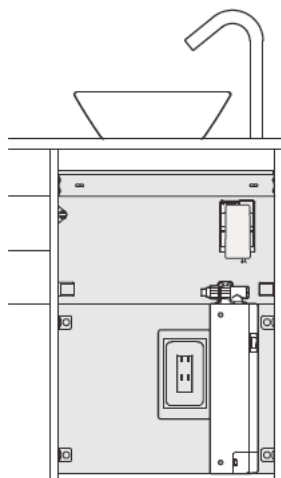
電気温水器取付位置

【左勝手】

【右勝手】



▽床仕上げ面

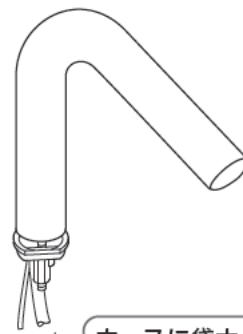
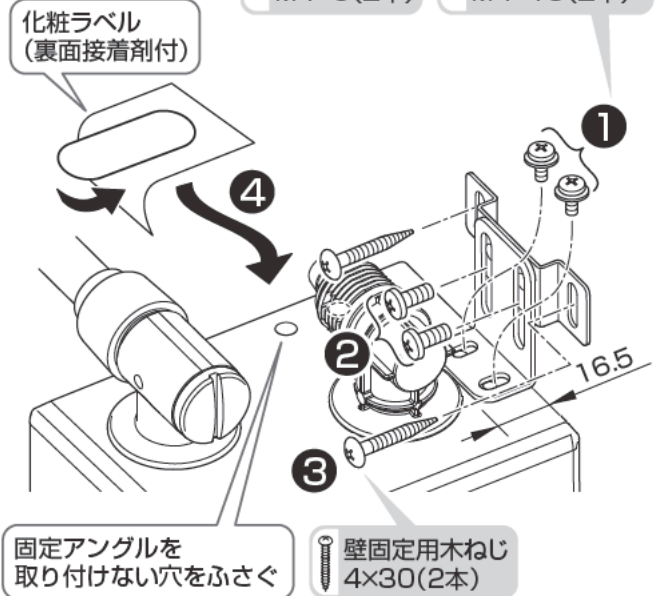


▽床仕上げ面

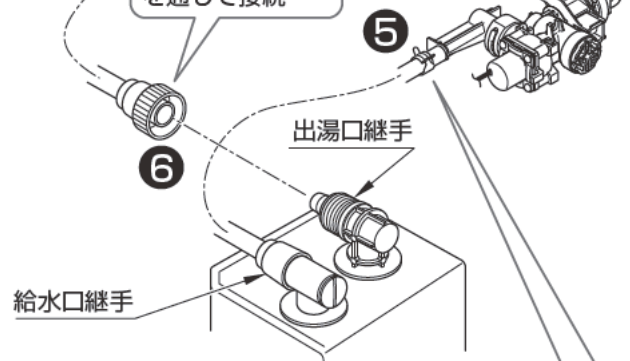
②

スペーサー
取付用ねじ
M4×5 (2本)

固定アングル用
座付なべねじ
M4×10 (2本)



ホースに袋ナット
を通して接続

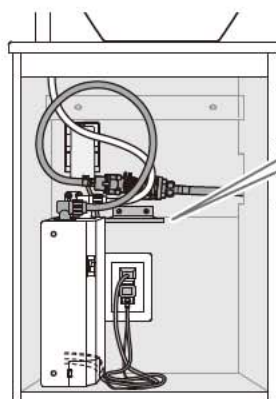


⚠ 注意



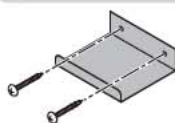
必ず守る

- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
 - ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
- 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



7

トラスタッピンねじ
4×30 (2本)



▽床仕上面

警告

電源コード・アース線は、キャビネットと電気温水器との間や、扉に挟まない
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードはコンセントプレートカバーの上を通さない
結露水がコードを伝わりコンセントにかかり、火災や感電のおそれがあります。

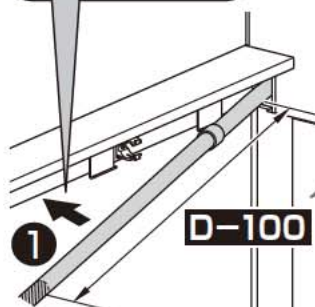
コンセント
プレートカバー



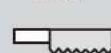
ポイント

排水管を壁側に
寄せてけがく

固定扉キャップに
当てて測る



けがき → カット



注意



必ず守る

ホースカット時、押切タイプのパイプ
カッターは使用しない
ホースの断面が変形し、水漏
れして家財などをぬらす財産
損害発生の原因となります。



カット面は滑らかに仕上げる
お客様の手が触れ、けがをするおそれがあります。

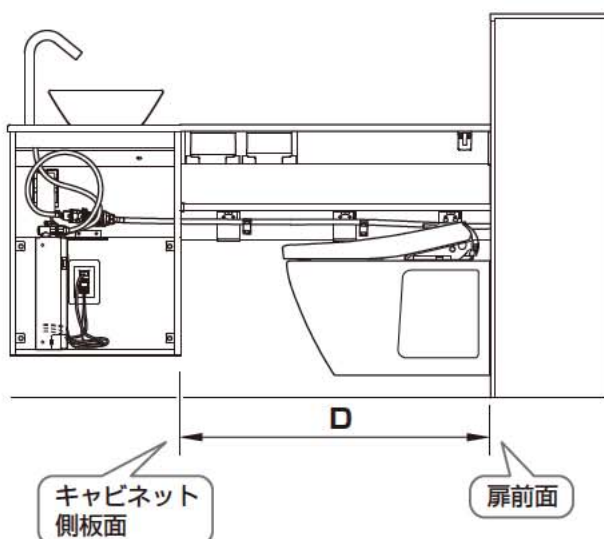
ポイント

手洗器排水ホースは垂直にカットする



MEMO

7 手洗器排水ホースのカット



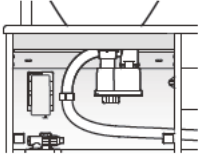
15

手洗器

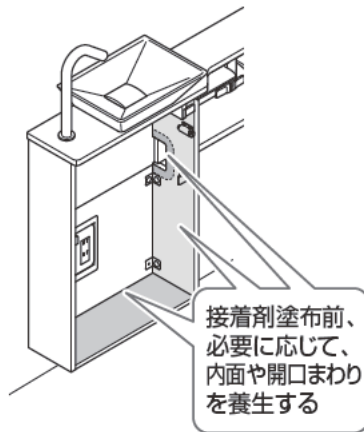
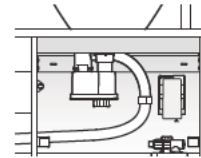
8 排水トラップの取り付け

取付状態

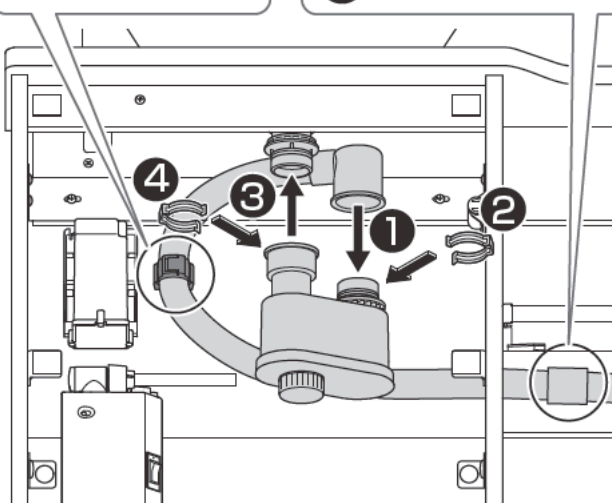
【左勝手】



【右勝手】



- ⑤ 配管固定材に
トラップ排水管を通す
※固定はしない



① ③

注意



禁止

斜めに差し込まない
水漏れして家財などを
ぬらす財産損害発生の
原因となります。

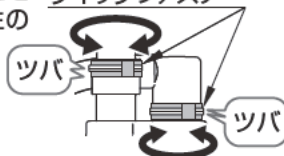


注意



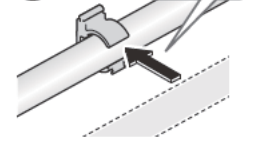
必ず守る

クイックファスナーが正しく固定されて
いることを確認する
全周にツバがかかっていることを確認する
水漏れして家財などを クイックファスナー
ぬらす財産損害発生の
原因となります。



7

はめ込む



- ⑧ トラップ排水管を
配管固定材に固定

- ⑨ フレキホースを排水管の上に載せ
インシュロックで固定する
※自動水栓の電源コードがある
場合は排水管の上に載せる

電源コード
フレキホース

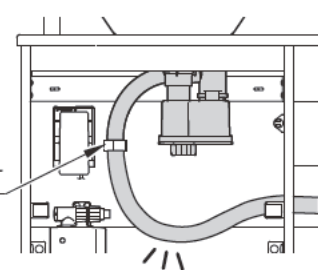


逆勾配注意

トラップ排水管がたるまないように固定する
手洗器から異音発生のおそれがあります。



配管固定材



MEMO